

令和3年度 浦川小学校

学校評価集計結果

内容

- ・ 教職員の評価結果
- ・ 保護者の評価結果
- ・ 児童の評価結果
- ・ 地域の方からの評価結果

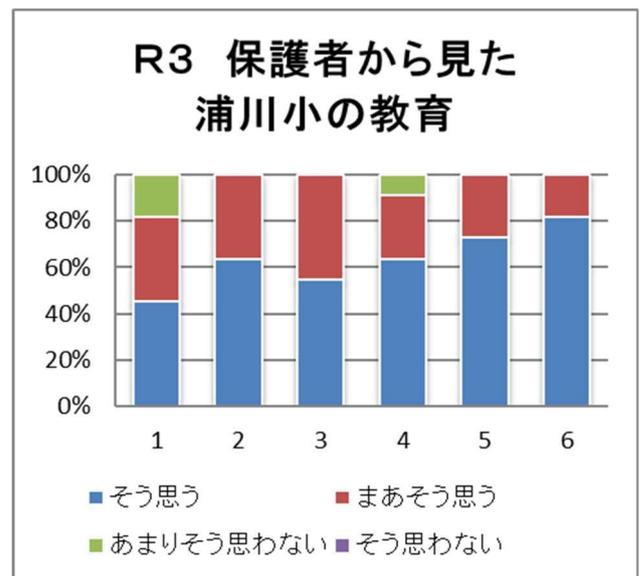
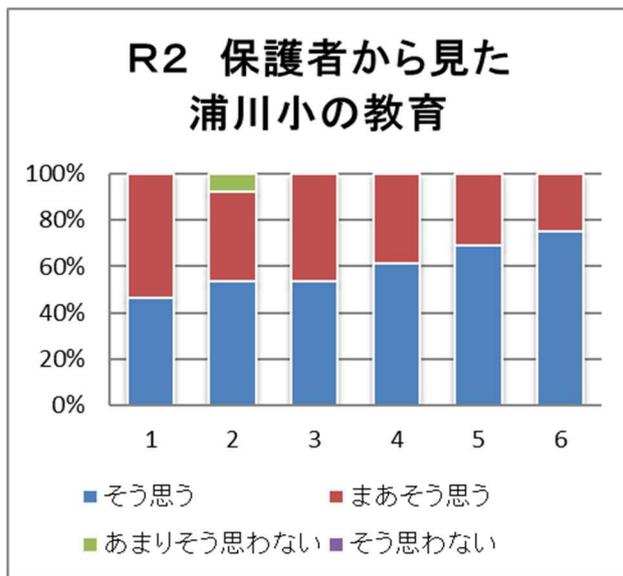
実施時期

- ・ 2学期末
- ※ 教職員は1学期末にも実施

設問1 浦川小の教育について

*指数 = (そう思う×1+まあそう思う×0.75+あまりそう思わない×0.25+そう思わない×0) / 人数
つまり、回答者全員が「そう思う」と回答した場合を100とした場合の指数(以下の表も同様)

No.	質問	R1	R2	R3
1	確かな学力が身に付く取り組みをしている。	83	87	▲77
2	思いやりの心を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	75	△85	△91
3	たくましい体を鍛える取り組みをしている。	83	88	89
4	三者面談など相談しやすい環境を作り、家庭と連携している。	86	90	86
5	家庭や地域に情報を発信し、連携・協力している。	83	△92	93
6	子どもの健康や安全に気を配っている。	92	94	95
	平均	86	89	88



- 全体的には、昨年度と同様な評価となっている。
- 設問2については、例年評価が下がっていた項目であるが、いじめや生徒指導、保護者との関係づくり等、いろいろな活動での取り組みと子供の表れが評価されたと思う。しかし、設問4で「あまりそう思わない」への回答も見られた。
保護者や家庭との連携は、生徒指導に必要不可欠であるので、信頼関係をしっかり築いて子供たちへの支援にあたっていきたい。
- 設問1の評価が下がった。もう1つのアンケート回答(家庭学習、基礎基本)でも低評価回答がいくつか見られた。学習や授業は学校教育活動の基盤となる。新学習指導要領への対応やタブレット端末の導入、キャリア教育など、ここ1、2年の大きな変化への対応をしながら、昔ながらの基礎基本も疎かにしないように子供たちの学力を上げていくことや、新学習指導要領で目指す学ぶ力や生きる力などについてしっかり周知していくことも大切になってくる。

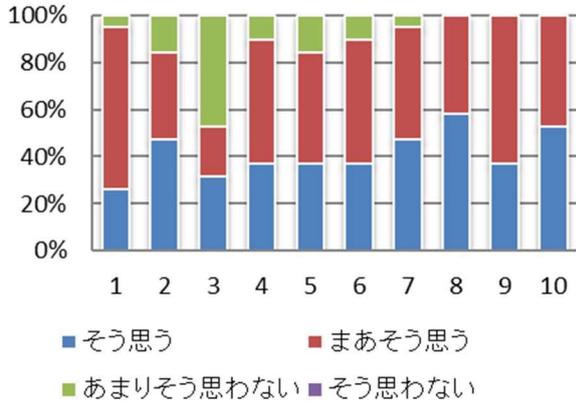
設問3 設問1・2への補足・教育活動への御意見・御要望（自由記述）

- ・発表の場はとても楽しみにしています。コロナも少し落ち着きましたが、感染対策は続けながら今まで通りの活動を再開できることを期待しています。
- ・エアコンをせっかく導入したので暑かったり寒かったりしたら臨機応変に活用していただきたいです。
- ・複式学級で担任と教科の先生で子供の問題を共有できているのか？と思うことがある。少ない人数なので一人一人にも寄り添った教育や指導をしてほしい。
- ・自主性を育てるのは大切ですが、なかなか自分から動けない子には声掛けやヒントを与えてやってほしいです。

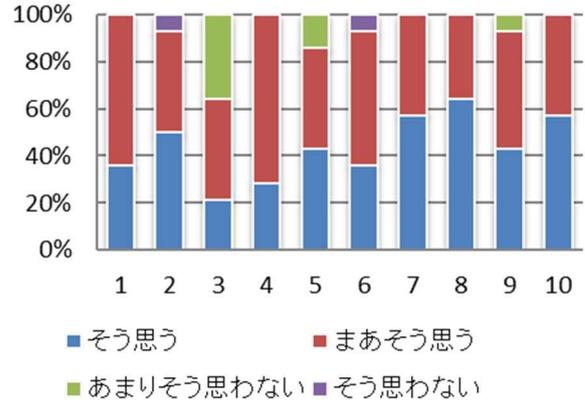
設問1 児童の様子（児童、保護者、教職員の比較）

No.	質 問		R 1	R 2	R 3
1	自分の思い・考えを発表している。	児童	80	79	△88
		保護者	75	79	△84
		教職員	72	△82	83
2	毎日、家庭学習に取り組んでいる。	児童	92	91	93
		保護者	78	79	82
		教職員	83	82	83
3	よく本を読んでいる。	児童	75	▼67	△75
		保護者	60	59	63
		教職員	78	▼64	△83
4	気持ちのよい挨拶や返事をしている。	児童	89	▼82	80
		保護者	71	△79	82
		教職員	50	△79	△88
5	時と場に合った正しい言葉遣いをしている。	児童	81	83	△93
		保護者	67	△76	79
		教職員	64	△78	▼67
6	進んで運動に取り組み、体力が向上している。	児童	71	△82	80
		保護者	71	△79	79
		教職員	83	79	△92
7	健康や安全に気を付けて生活している。	児童	91	89	▼84
		保護者	83	84	89
		教職員	89	▼82	83
8	仲よく思いやりをもって生活している。	児童	87	91	89
		保護者	78	△89	91
		教職員	89	86	88
9	基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。	児童	83	86	89
		保護者	76	△84	82
		教職員	83	79	79
10	自分らしさ(自分のよさ)を発揮し、楽しく学校に通っている。	児童	86	84	88
		保護者	83	△88	89
		教職員	89	89	92

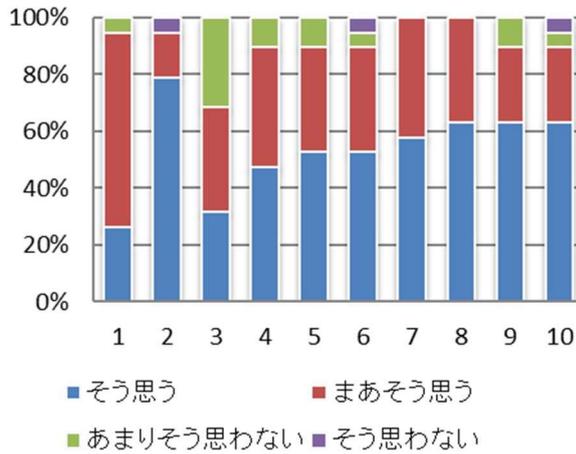
**R2 保護者から見た
児童の姿**



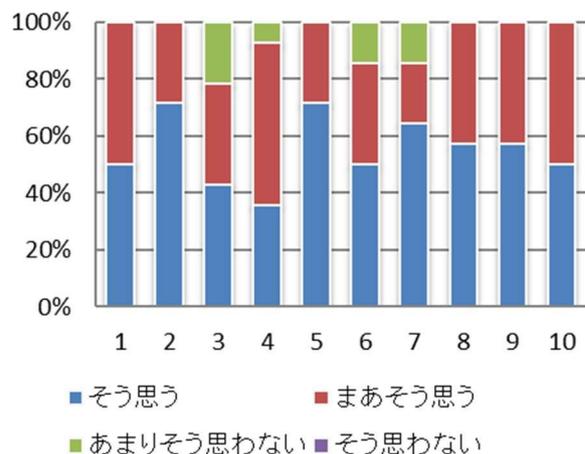
**R3 保護者から見た
児童の姿**



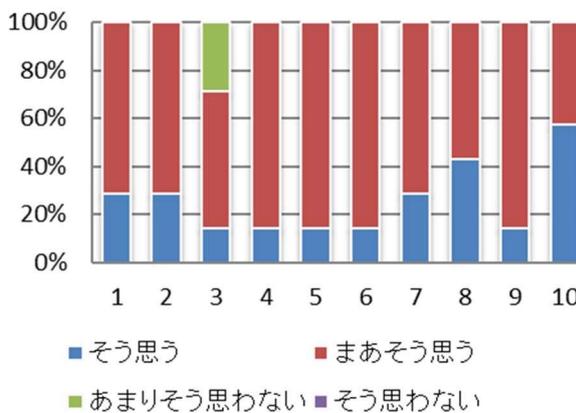
R2 児童自身の姿



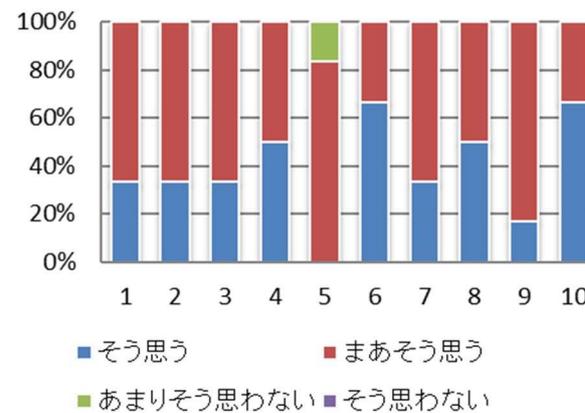
R3 児童自身の姿



**R2 教職員から見た
児童の姿**



**R3 教職員から見た
児童の姿**



設問2 がんばっていたこと、よりよくなったこと（自由記述）

- ・ あいさつ 3
 - ・ 話をしっかり聞いている
 - ・ 本を読んでいるところ、図書室の使い方 2
 - ・ 運動で走るのが速くなった（7分間走、運動会のリレー） 3
 - ・ 仲良くなった 4
 - ・ 授業をしっかりやっている
- ▲ とくにない

設問3 もっとこうなったらいいな（自由記述）

- ・ もっと笑いがほしい
- ・ けんかをなくしたほうが良いと思う、思いやり 2
- ・ 言葉遣い・ふわふわ言葉 2
- ・ あいさつの声を大きく、みんな元気に 2
- ・ もっと地域の人とのかかわりを深めるとよい
- ・ 図書室で「あさはよ」が守れていないときがある

- 1…校長先生もいろいろな場面で評価していただいているが、子供たち自身もかがやき発表や感想発表の場の設定などの継続で成長を実感することができていると考えられる。また、行事等でもそれが生かされて、保護者にも伝わっていると感じる。
- 3…読書について・・・児童と職員は数値アップした。しかし、保護者は横ばいで「あまりそう思わない」回答も一定数以上ある。校内において、雨の日の図書室利用や児童たちで考えた合言葉「あ・さ・は・よ」など、いろいろな取り組みの効果が上がっていると思うが、それを家庭にも広げていく手立てを考えていきたい。
- 5…言葉遣いについて・・・児童と職員での評価が乖離した。児童から「もっと仲良く」「けんかを減らす」という記述数は例年よりだいぶ減ったので、トラブルがあった場合ではなく、日常での言葉遣いがあまりよくないと感じている職員が多い。「ふわふわ言葉」という記述もあるように、児童と共通理解を図りながら、普段の言葉遣いについて考えていく必要がある。

設問① 浦川の子供について感じること

(『自分らしさを輝かせる子』の育成)の取り組み、自分らしさや自分のよさに気付くことができる感性、自己肯定感という視点から)

- とても個性豊かで、みんなそれぞれ伸び伸びと過ごせているように感じる。週1くらいの関わりでも、「この子はこういうことが得意なんだ、好きなんだ」ということが分かるくらい自分らしく生活できているのではないかと思う。子供たちが自分の強みなどに気付けるように、言葉にして伝えたり褒めたりしていきたい。
- 素直でのびのび育っている子供たちだと思います。上級生・下級生の区別なく仲よくしている様子がとても微笑ましいです。
- 高学年は、その場の雰囲気、状況に応じて対応できる子が多い。低学年は自分の意見より、他の子の反応を見ながら同じようにという子が見られる。どの子供たちにも個性や感性があります。コントロールしながら自分らしさを出して行ってほしいと思います。そして、相手を思いやる心をもってほしいです。
- 学習発表会を見て、小規模校ならではのよさや、3、4人で20分話して動いて伝えられることがすごいと感じる。先生方の手伝いも感謝している。
- 「自分らしさを輝かせる」には最高の条件下で進められていると思います。
- 元気にあいさつしてくれます。
- 出会う機会が少ない中、あいさつがよくできると思います。自分も言葉を返し、ほのぼのした気分になります。
- 豊かな自然のなかで、素直に育っていると思います。競争心は無理だと思いますが、おおらかさ、思いやりがあると思います。
- 学校行事から、自分らしく取り組もうとする姿勢が感じられた。
- あいさつができて、礼儀正しい児童が多いと感じる。自己肯定感を高めるには、自分が必要とされていると感じることが大切だと思うので、地域の方から児童に対してお礼を言うような活動もよいかもしい。
- あいさつのできる子供たち。仲良く遊んでいるのを見かける。
- 一人一人の出番と役割から、場における適応力が育っている。
- しっかりあいさつしてくれて清々しくなる。大人が感心していることを伝えてほしい。
- 出会った人に「こんにちは」とあいさつしている。自分から手を挙げて発言している。自分の言葉で行動している。
- ▲ 時代が違いすぎて、子供が少なくて回答が難しい。
- ▲ この子供たちが大勢の中に入ったとき、どのような行動ができるのか見てみたい。社会に出て、物おじしないような御指導願いたい。
- ▲ 団体の中での一員となると、連携・協働の実現は少し困難性が増してしまうような気がします。
- ▲ 同年代の人と接することが少なくなってきましたので少しかわいそうに思います。他校との交流をもっとできたらと思う。
- ▲ 地域での諸活動が停滞しているので、子供のよさが生かされていないことが残念。

設問② 学校が果たす役割として期待すること

(「市民協働による人づくり、地域で子供を育てるという視点から」)

- ・ 学校での様子をありのままに家族や地域の方々に伝える機会をもつこと。また、家庭や地域での姿も学校に伝え、連携をとること。行事などみんなで作り上げていけるように配慮すること。
- ・ 浦小だからこそできる活動を続けてほしい。子供たちの個性を大切に、それを伸ばす教育を期待しています。
- ・ 季節・行事ごとに地域に発信しているので、関心も高まっています。発信するだけでなく、意見を聞きながら取り組むことによって連携ができると思います。
- ・ 個々の自己主張ができていると感じるが、大人数の中で、社会に出て、周りとの共同・協同・協働ができるように御指導願いたい。浦川にもいろいろな大人がいますので、どんどん呼び出してください。運営委員としても協力します。
- ・ 幼少の頃は、学校・家庭・地域それぞれのリーダー・責任者のような立場の人がいて、子供の教育をまとめ上げてきました。その代替を学校で果たそうとしても何ができるのか、また、環境づくりができるのか？大人もともに学ぶしかないと思います。
- ・ 道徳の教え。利己主義的な考えから、自分の利益や喜びを第一とするも個人の価値を尊び重んじる個人主義的心の教え。
- ・ 子供に関心をもつことだと思います。地域の住民が少ない子供たちを見守り、私自身今まで関心をもつことが少なかったことを反省しています。
- ・ 市民総がかりで教育する必要があるのでしょうか。今の浦川小、十分目が届くし子供と先生の間はとても親しいと思います。命の大切さを教え、自分の命を大切にして、自分が嫌なことは他人にしない教育をしてほしいです。
- ・ 地域に愛される学校づくり。
- ・ 釣り体験、民話、五平餅、歌舞伎等、地域の方の協力には頭が下がります。大変すばらしく良い体験になると思いますので、継続できるといいですね。
- ・ リスクヘッジをしっかりと行ったうえで、学校行事を地域の方に共有・公開すること。
- ・ 運動会など見に行くが、地域の人が参加・見学できたりするとよい（コロナ渦で大変でしょうが）
- ・ 地域にとって子供は将来の夢。自らの道を切り拓けるスキルをもつ人間に育つように。
- ・ 少子化・過疎化で大変だが、肩に力を入れずに自然に接することでよい。
- ・ 子供が育っても働く場が少ない土地になってしまった。故郷の心を保ってほしい。
- ・ 学校行事の呼びかけに、コロナ禍でもしっかり対策して参加してくださる。開かれた学校にしておけば、ちょっと草取りしたり「できることあるかね」と訪れたりすることができる。樫の木を気にかけている人もある。

設問③ 学校に対する御意見・御要望

- ・ 幼稚園休園説明を受けました。委員会で1, 2度統合の話し合いが行われましたが、父兄の皆さんがどのように考えているのか知る機会がありませんでした。地区自治体としてこのことは話題に挙がってきませんでした。地元の大きな課題として、子供たちに悔いの残らないように考えていく必要があります。
- ・ できる範囲の中で子供たちを見守っていきたい。少しでも長く浦小が存続することを願っています。
- ・ 市役所や遠鉄、ホトニクスなど、見学するところはいっぱいあります。今の子は「井の中の蛙」ではないと思いますが、田舎ではできない多くの社会・世の中を見せてやってほしい。
- ・ 交番にいつでも立ち寄ってください。
- ・ 昭和生まれの人の中には、まだまだいろいろな体験をしてきた方がいると思います。仕事のお話をしていただける方を探すために、募集を回覧に回すとかはどうでしょうか。専門的になってしまうかもしれませんが、5・6年なら興味のある話になるかもしれません。
- ・ 学校の多忙化がずいぶん前から言われている。環境整備や見守り等、できることは協力したい。
- ・ いつでも興味がある方の自由参観できる仕組みを試みてはどうか。
- ・ 地域にすごく入っていく姿勢に感謝です。

- あいさつや、行事や活動に取り組む態度や意欲など、子供たちの表れに対して高く評価してくださっている。また、少人数ならではの取り組みの効果に期待している方も多い。自己肯定感という観点から見ると、こういった地域からの高い評価を、もっと積極的に児童に伝えていくことで、もっと元気にあいさつしよう、〇〇もがんばろうと、前向きにいろいろなことに取り組もうとする意欲につなげていきたい。
- 一方で、少人数ゆえの弊害について、例年同様に課題としてとらえている方もいた。感染症対策は必要ですが、他校との交流活動、外部講師の活用、校外学習などを、より積極的に行えるように計画をしていきたい。
- 地域には、学校へ協力しようとする思いをもつ方が多い。浮森やCS通信の回覧・掲示、ブログなど、情報発信の取り組みをしているが、地域の力をお借りするためにも、いろいろな場面や方法でより積極的に情報発信をしていく必要を感じた。